

SYMETRIC



GENECODE

ユーザマニュアル

JavaScript API リファレンス

第 2 版

最終更新日 2013/1/10

目次

第 1 章	概要	4
第 2 章	JavaScript API 一覧	5
2-1	gcutil パッケージ	5
(1)	out 関数	5
(2)	getParameter 関数	5
(3)	getUri 関数	6
(4)	getHeader 関数	6
(5)	getResponseHeader 関数	7
(6)	hasTerminfo 関数	7
(7)	getTerminfoProperty 関数	8
(8)	setTerminfoProperty 関数	8
(9)	escapeHtml 関数	9
(10)	toHtml 関数	9
(11)	toDebugHtml 関数	9
(12)	writeViewport 関数	10
(13)	isGroup 関数	10
(14)	getRemoteGroup 関数	11
(15)	getStatusCode 関数	11
2-2	gclog パッケージ	12
(1)	error 関数	12
(2)	debug 関数	12
(3)	trace 関数	13

(4)	isErrorEnabled 関数	13
(5)	isDebugEnabled 関数	14
(6)	isTraceEnabled 関数	14
2-3	gcruntime パッケージ	16
(1)	loadJs 関数	16
(2)	loadJsOnce 関数	16
(3)	setTemplate 関数	17
(4)	redirect 関数	17
2-4	jQuery 拡張関数	19
(1)	gc_image_resize 関数	19
(2)	gc_image_clip 関数	19

第1章 概要

本ドキュメントは、テンプレートの<gc-script>タグ内やコントローラで利用可能な JavaScript API について記述しています。

クライアント JavaScript ではこれらの API は利用できません。

第2章 JavaScript API 一覧

2-1 gcutil パッケージ

(1) out 関数

書式	gcutil.out(str)
引数	str: 文字列(必須)
戻り値	なし
説明	引数で指定された文字列をレスポンスとして出力します。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><div> <gc-script> var msg = "JavaScript 上で生成した文字列です。
"; gcutil.out(msg); </gc-script> </div></pre>

(2) getParameter 関数

書式	gcutil.getParameter(name)
引数	name: パラメータ名(必須)
戻り値	パラメータ値を表す文字列。存在しない場合は undefined。
説明	リクエスト URL のクエリ文字列から指定されたパラメータ名の値を取得します。
必要 JS ファイル	なし
例	<gc-script>

	<pre>var val = gcutil.getParameter("key");</pre> <p></gc-script></p>
--	--

(3) getUri 関数

書式	gcutil.getUri()
引数	なし
戻り値	リクエスト URI を表す文字列
説明	<p>リクエストされた URI のうち、ホスト名、ポート番号、パラメータ以外の部分(リクエスト URI)を取得します。リクエスト URI にはクエリー文字列は含まれません。</p> <p>http://foo.bar/index.html -> /index.html</p> <p>http://foo.bar/ -> /</p> <p>http://foo.bar/path/?a=b -> /path/</p>
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script></pre> <pre>var uri = gcutil.getUri();</pre> <pre></gc-script></pre>

(4) getHeader 関数

書式	gcutil.getHeader(name)
引数	name: リクエストヘッダ名(必須)
戻り値	リクエストヘッダ値を表す文字列。リクエストヘッダが存在しない場合は undefined。
説明	指定された名前のリクエストヘッダを取得します。

必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> var host = gcutil.getHeader("Host"); </gc-script></pre>

(5) getResponseHeader 関数

書式	gcutil.getResponseHeader(name)
引数	name: レスポンスヘッダ名 (必須)
戻り値	レスポンスヘッダ値を表す文字列。レスポンスヘッダが存在しない場合は undefined。
説明	指定された名前のレスポンスヘッダを取得します。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> var cookie = gcutil.getResponseHeader("Cookie"); </gc-script></pre>

(6) hasTerminfo 関数

書式	gcutil.hasTerminfo()
引数	なし
戻り値	端末情報が取得できた場合は true、取得できなかった場合は false
説明	Cookie、もしくはキャッシュから端末情報が取得できたかどうかを判定します。
必要 JS ファイル	なし

例	
---	--

(7) getTerminfoProperty 関数

書式	gcutil.getTerminfoProperty(key)
引数	key: 端末情報項目名
戻り値	端末情報値を表す文字列。端末情報自体が取得できない場合は undefined。値が取得できなかった場合は null。
説明	Cookie、もしくはキャッシュから指定された名前の端末情報値を取得します。名前は大文字小文字が区別されます。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> var browserType = gcutil.getTerminfoProperty("browserType"); </gc-script></pre>

(8) setTerminfoProperty 関数

書式	gcutil.setTerminfoProperty(key, value)
引数	key: 端末情報項目名 value: 端末情報値
戻り値	なし
説明	名前と値を指定して独自の端末情報を追加する。この関数を使って追加した情報は、リクエストが終わるまでの間、gcutil.getTerminfoProperty 関数で取得可能
必要 JS ファイル	なし
例	gcutil.setTerminfoProperty("foo", "bar");

(9) escapeHtml 関数

書式	gcutil.escapeHtml(text)
引数	text: エスケープ対象の文字列
戻り値	HTML エスケープ済みの文字列
説明	テキストを HTML 形式にエスケープします。たとえば、「>」は「>」に変換されます。
必要 JS ファイル	なし
例	

(10) toHtml 関数

書式	gcutil.toHtml(elem)
引数	elem: jQuery オブジェクト
戻り値	なし
説明	引数で指定された jQuery オブジェクトをブラウザに出力します
必要 JS ファイル	gcutils.js
例	<pre><gc-script> gcutil.toHtml(\$(".body")); </gc-script></pre>

(11) toDebugHtml 関数

書式	gcutil.toDebugHtml(elem)
----	--------------------------

引数	elem: jQuery オブジェクト
戻り値	なし
説明	引数で指定された jQuery オブジェクトを debug レベルでログに出力します。
必要 JS ファイル	gcutils.js
例	<pre><gc-script> gcutil.toDebugHtml(\$(".body")); </gc-script></pre>

(12) writeViewport 関数

書式	gcutil.writeViewport()
引数	なし
戻り値	なし
説明	スマートフォン用の viewport を出力します。
必要 JS ファイル	gcutils.js
例	<pre><head> <gc-script> gcutil.writeViewport(); </gc-script> </head></pre>

(13) isGroup 関数

書式	gcutil.isGroup(name)
----	----------------------

引数	name: 端末グループ名
戻り値	指定した端末グループに所属している場合は true、それ以外の場合は false
説明	クライアントが指定した端末グループに属しているかどうかを判定します。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre>if (gcutil.isGroup("android")) { gclog.debug("request from android "); }</pre>

(14) getRemoteGroup 関数

書式	gcutil.getRemoteGroup()
引数	なし
戻り値	IP アドレスリストに含まれるネットワークグループ名。IP アドレスリストに一致しない場合は null。
説明	GCHtmlIpAddressFile で記述された IP アドレスリストで、アクセスされた IP を元にネットワークグループ名を取得します。
必要 JS ファイル	なし
例	

(15) getStatuscode 関数

書式	gcutil.getStatuscode()
引数	なし
戻り値	ステータスコード(整数値)

説明	PC サイトのレスポンスのステータスコードを取得します。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre>if (gcutil.getStatusCode() == 404) { gclog.debug("404 not found"); }</pre>

2-2 gclog パッケージ

(1) error 関数

書式	gclog.error(str)
引数	str: メッセージ文字列
戻り値	なし
説明	<p>GCHtmlLogFile ディレクティブで指定されたテンプレートログファイルにエラーレベルでログを出力します。</p> <p>GCHtmlLogFile ディレクティブが未設定の場合は、出力されません。</p>
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> gclog.error("error message at template"); </gc-script></pre>

(2) debug 関数

書式	gclog.debug(str)
引数	str: メッセージ文字列
戻り値	なし

説明	GCHtmlLogFile ディレクティブで指定されたテンプレートログファイルにデバッグレベルでログを出力します。 GCHtmlLogFile ディレクティブが未設定の場合、または GCHtmlLogLevel が debug(2)未満の場合は、出力されません。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> gclog.debug(" debug message at template"); </gc-script></pre>

(3) trace 関数

書式	gclog.trace(str)
引数	str: メッセージ文字列
戻り値	なし
説明	GCHtmlLogFile ディレクティブで指定されたテンプレートログファイルにトレースレベルでログを出力します。 GCHtmlLogFile ディレクティブが未設定の場合、または GCHtmlLogLevel が trace(3)未満の場合は、出力されません。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> gclog.trace("trace message at template"); </gc-script></pre>

(4) isErrorEnabled 関数

書式	gclog.isErrorEnabled()
引数	なし

戻り値	有効な場合は true を返す
説明	GCHtmlLogLevel で error(1)が設定されているかどうかを判定します。
必要 JS ファイル	なし
例	

(5) isDebugEnabled 関数

書式	gclog.isDebugEnabled()
引数	なし
戻り値	有効な場合は true を返す
説明	GCHtmlLogLevel で debug(2)以上が設定されているかどうかを判定します。
必要 JS ファイル	なし
例	

(6) isTraceEnabled 関数

書式	gclog.isTraceEnabled()
引数	なし
戻り値	有効な場合は true を返す
説明	GCHtmlLogLevel で trace(3)以上が設定されているかどうかを判定します。
必要 JS ファイル	なし
例	

2-3 gcruntime パッケージ

(1) loadJs 関数

書式	gcruntime.loadJs(path)
引数	path: JavaScript ファイルパス(文字列)
戻り値	なし
説明	path で指定された JavaScript ファイルを読み込み、実行します。 path は GCHtmlJsDirectory ディレクティブで設定したディレクトリパスからの相対パスとみなされます。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre><gc-script> gcruntime.loadJs("gcutils.js"); </gc-script></pre>

(2) loadJsOnce 関数

書式	gcruntime.loadJsOnce(path)
引数	path: JavaScript ファイルパス(文字列)
戻り値	なし
説明	path で指定された JavaScript ファイルを読み込み、実行します。ただし、既に読み込み済みの JS ファイルは読み込みません。 path は GCHtmlJsDirectory ディレクティブで設定したディレクトリパスからの相対パスとみなされます。
必要 JS ファイル	なし

例	<pre><gc-script> gcruntime.loadJsOnce("gcutils.js"); </gc-script></pre>
---	---

(3) setTemplate 関数

書式	<code>gcruntime.setTemplate(path)</code>
引数	path: テンプレートファイルパス(文字列)
戻り値	なし
説明	<p>使用するテンプレートファイルを設定します。テンプレートパスはテンプレートディレクトリを基準とした/から始まるパスを指定します。</p> <p>この API はコントローラでのみ使用します。</p>
必要 JS ファイル	なし
例	<code>gcruntime.setTemplate("/common.html");</code>

(4) redirect 関数

書式	<code>gcruntime.redirect(url, status)</code>
引数	<p>url: リダイレクト先絶対 URL(必須)</p> <p>status: レスポンスに使用するステータスコード(任意)</p>
戻り値	なし
説明	<p>指定された URL にリダイレクトを行うようなレスポンスを返します。status を省略した場合は、302 でリダイレクトを行います。</p> <p>この関数を呼び出す前に出力していたレスポンスは、全てキャンセルされます。こ</p>

	の API を呼び出した後は、すぐに return してください。
必要 JS ファイル	なし
例	<pre>if (gcruntime.isGroup("android")) { gcruntime.redirect("http://www.example.com"); return; }</pre>

2-4 jQuery 拡張関数

(1) gc_image_resize 関数

書式	jquery_obj.gc_image_resize(w)
引数	w: 変換後の画像幅(ピクセル数単位)
戻り値	変換後の自身の jQuery オブジェクト
説明	指定された幅で画像を縮小します。
必要 JS ファイル	gcutils.js
例	

(2) gc_image_clip 関数

書式	jquery_obj.gc_image_clip(fx, fy, tx, ty)
引数	fx: 矩形領域の左上の X 座標 (0 以上の整数) fy: 矩形領域の左上の Y 座標 (0 以上の整数) tx: 矩形領域の右下の X 座標 (0 以上の整数) ty: 矩形領域の右下の Y 座標 (0 以上の整数)
戻り値	変換後の自身の jQuery オブジェクト
説明	指定された矩形座標で画像を切り抜きます。
必要 JS ファイル	gcutils.js
例	